



# 祝 30号 ～会報誌の歩み～

これからも同窓生に愛される会報誌であるように!

●校友会会員が  
8,000人を超える

●日藤心のふるさと ●クラブ紹介

【創刊号】昭和42年10月1日発行

日本大学 藤沢高校 校友会報 第1号

昭和42年10月1日発行  
日本大学藤沢高等  
学校校友会  
藤沢市亀井野1866番地  
日本大学藤沢高校内  
電話藤沢0466(22)2219



**校友会設立にあたって**  
校長 直江 忠治  
本誌創刊に際して、校友会の設立を期す。校友会の設立は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。校友会の設立は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。

**校友会の誕生を祝って**  
副校長 岩田 耕作  
校友会の誕生を祝して、校友会の発展を期す。校友会の誕生は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。

**藤高祭を見に行こう**  
藤高祭は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。藤高祭は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。

**校友会の意義と基礎固め**  
会長 広田 和夫  
校友会の意義は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することにある。校友会の意義は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することにある。

**学園近況**  
教頭 高沢 敏男  
学園近況は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することにある。学園近況は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することにある。

●校友会の結成や、校友会会則の紹介  
見開き4ページでした

【第3号】昭和44年10月1日発行

日本大学 藤沢高校 校友会報 第3号

昭和44年10月1日発行  
日本大学藤沢高等  
学校校友会  
藤沢市亀井野1866番地  
日本大学藤沢高校内  
電話藤沢0466(81)3123



**名簿、来春完成めざす**  
校友会の名簿作成は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。名簿作成は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。

**熱意をもって育てよう**  
校友会の熱意をもって育てよう。校友会の熱意をもって育てよう。

**藤高祭 文化祭**  
藤高祭 文化祭は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。藤高祭 文化祭は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。

**謹告**  
校友会の謹告は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。校友会の謹告は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。

**総会**  
校友会の総会は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。校友会の総会は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。

**校友会名簿作成に感謝**  
校友会名簿作成に感謝。校友会名簿作成に感謝。

**校友会長賞**  
校友会長賞は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。校友会長賞は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。

●武道館の完成  
●校友会名簿の作成  
●生徒会誕生

【第2号】昭和43年10月1日発行

日本大学 藤沢高校 校友会報 第2号

昭和43年10月1日発行  
日本大学藤沢高等  
学校校友会  
藤沢市亀井野1866番地  
日本大学藤沢高校内  
電話藤沢0466(22)2218



**藤高祭を見に行こう**  
藤高祭は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。藤高祭は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。

**校友会の意義と基礎固め**  
会長 広田 和夫  
校友会の意義は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することにある。校友会の意義は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することにある。

**学園近況**  
教頭 高沢 敏男  
学園近況は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することにある。学園近況は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することにある。

【第4号】昭和46年3月3日発行

日本大学 藤沢高校 校友会報 第4号

昭和46年3月3日発行  
日本大学藤沢高等  
学校校友会  
藤沢市亀井野1866番地  
日本大学藤沢高校内  
電話藤沢0466(81)0123

**会員名簿完成 1万有余名を納める**



**校友会 総会**  
校友会の総会は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。校友会の総会は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。

**校友会名簿作成に感謝**  
校友会名簿作成に感謝。校友会名簿作成に感謝。

**校友会長賞**  
校友会長賞は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。校友会長賞は、同窓生の交流を促進し、母校の発展に貢献することを目的とする。

●藤高祭の紹介  
●藤高女子気質

祝 30号～ 会報誌の歩み

嫩草萌ゆる

- 校友会の初期に会報を4号まで出してから15年がたち、体裁をかえて再刊。
- 誌名は校歌の一部をとった

- わが職場のOB会紹介
- 活動してます!  
劇団「むごん前」
- 日藤沿革、クラブ活動 など

【第1号(5号)】昭和61年3月4日発行



【第2号(6号)】昭和61年9月27日発行

▼表紙/9期生 小林正嗣 作

表紙・裏表紙はカラー



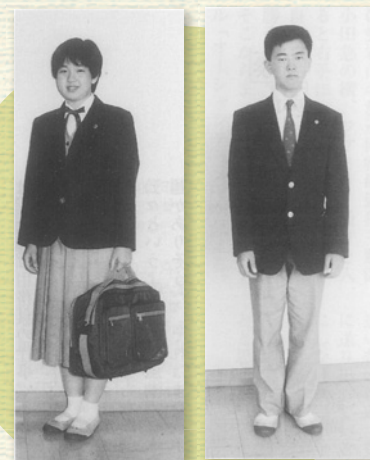
- 活躍してます!  
・画家2人  
・市議会議員
- クラブ活動
- 総会報告

▼裏表紙/15期生 平本公男 作



【第3号(7号)】昭和63年3月31日発行

▼表紙/写真家 荒牧万佐行 撮影



藤高生今昔

▼裏表紙/昭和27年卒・20期生 陶芸家 芹澤龍夫 作



第8号から現在の同窓会報の原型となった

- 母校の近況
- 昨今の日藤生
- クラス会だより
- 支部結成時の思い出 など

【第8号】平成5年4月1日発行



- 校友会活動の紹介
- 我、ラグビーより能なし  
昭和37年卒 佐藤 三貴也
- 私の職場  
昭和48年卒 濱田善之
- この街この店  
昭和36年卒 吉野久紗

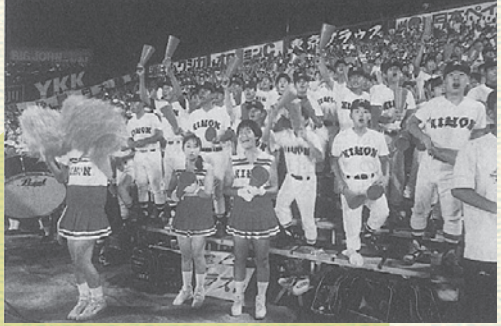
【第9号】平成6年7月1日発行



【第10号】平成7年12月1日発行



甲子園出場特集!



- 私の職場
- あの街、この店

【第13号】平成12年3月1日発行から

日藤創設50周年記念式典



【第14号】平成13年3月1日発行から

創設50周年記念新校舎



昭和51年落成  
創設25周年  
記念館



▲2017年現在の記念館

祝 30号～ 会報誌の歩み

【第18号】平成17年3月1日発行



カラーになりました!

- はばたけ「日大藤沢」期待の星!!
- ・野球部監督 山本秀明(平成元年卒)
- ・広島東洋カープ選手 尾形桂紀(平成9年卒)

●平成14年・第15号からの TOWN Research 卒業生が営むお店の紹介もカラー版に!

このころから同期会の紹介もせている。

【第22号】平成21年3月1日発行



- 活躍する「日大藤沢」卒業生
- ・中日ドラゴンズ 山本昌弘
- ・ノンフィクション作家 小松成美
- ・ミュージシャン 菊地圭介

【第23号】平成22年3月1日発行から

高校・新制服に



日本大学藤沢中学校設立



▲【第26号】平成25年3月1日発行から 中学校・校舎

日本大学藤沢小学校校舎完成!



▲【第22号】平成21年3月31日発行から 中学校・制服

サッカー部 全国3位!



編集委員から一言

いかがだったでしょうか? 気になる号がありましたら郵送いたします。事務局までご連絡ください。紹介した号以外でもけっこうです。

【第28号】平成27年3月1日発行



# 友情の絆を結ぶ同期会

同じ学舎で青春を謳歌した同期生。再会し、昔を回顧し語り合う楽しさ、再び友情を確かめ合うのが同期会です。同期会での結束が同窓会の発展にもつながります。ぜひ、皆様も積極的に同期会を開きましょう。

## 平成18年度卒業生 (理系クラス) 同期会

小高匡史 (平成19年卒)

平成28年7月2日(土)、横浜市中区に所在するイタリアンレストラン「アクイラ・ウォランス」にて、平成18年度卒業生(理系クラス)による同期会を開催しました。今回は、卒業して10年が経過するというところで、理系クラスを対象に、約40人の卒業生が集



## 常任幹事会報告

常任幹事会報告!!

同窓会は、顧問・会長・副会長・常任幹事の役員で構成されています。これに同窓会を担当する教職員がおり、定期的な常任幹事会を開催し、会の運営を行っています。本年度は、第1回を4月23日に、第2回は定期総会の1週間前の5月21日に行い、5月28日に総会を実施し、第3回は、役員忘年会も兼ねて11月26日に行いました。8頁に記載されている役員名簿を

## 支部会便り

このコーナーは各支部で発行している活動を紹介します。8頁で記載されている通り同窓会には、7つの支部があります。各支部の総会および懇親会を行っています。支部の支部長は学校との連絡調整などパイプ役となっており、各支部の長から話をうかがうと、どの支部でも新規入会者の受け入れに苦慮しているとのことでした。同窓生の皆さま、ぜひお近くの

支部長あてお気軽にご連絡のほどよろしくお願いします。湘南支部では毎春秋に、日帰りのバス旅行を行っています。私の所属している横浜支部をご紹介します。横浜支部の会員数は、約140名ほど在籍しています。支部長は飯田昌巨(昭和38年卒)、副支部長は今年から私柳澤が、事務局は熊田成之(昭和52年卒)、幹事会計は柴田博和(昭和51年卒)が

なっていました。通常、常任幹事会は年度に3回行われますが、緊急の案件処理のため臨時の幹事会を行うことがあります。同窓会の役員をためらっている同窓生や、やりたくないと思われている同窓生は多々いることなど得るものも多々あります。昨年度から常任幹事会でも若手常任幹事をどのよう



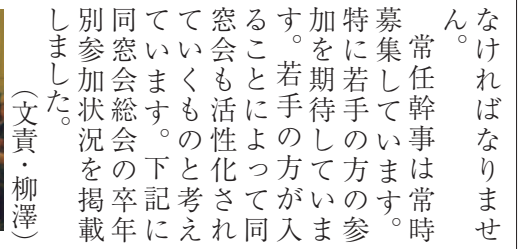
▲▼物まねの平田佳祐さん



▲▼横浜・横須賀・鎌倉支部 合同懇親会の様子



▲役員忘年会の様子



▼常任幹事会の様子



### 同窓会総会・卒業年別出席状況 (出席者名簿より抜粋)

期	卒業年	平成13 計 99	平成14 計 93	平成15 計 97	平成16 計 89	平成17 計 90	平成18 計 81	平成19 計 86	平成20 計 63	平成21 計 82	平成22 計 79	平成23 計 76	平成24 計 86	平成25 計 80	平成26 計 91	平成27 計 79	平成28 計 78
1	昭和27	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
2	〃 28	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
3	〃 29	4	5	3	3	1	3	2	2	4	1	0	0	0	0	0	1
4	〃 30	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	〃 31	1	3	2	1	2	0	2	0	1	1	0	3	0	1	2	1
6	〃 32	2	1	7	2	2	1	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1
7	〃 33	③ 8	4	4	3	5	2	2	1	3	3	1	1	1	2	1	0
8	〃 34	① 18	① 20	① 31	① 22	① 17	① 15	① 22	① 16	① 18	① 16	① 21	① 21	① 21	① 29	① 20	① 24
9	〃 35	7	② 11	② 10	③ 8	② 10	② 13	③ 7	③ 7	6	③ 7	② 10	③ 12	② 16	② 17	② 15	② 13
10	〃 36	5	4	6	6	③ 9	5	6	4	4	5	4	6	3	3	3	4
11	〃 37	6	4	3	2	5	3	6	2	1	4	3	9	6	8	3	5
12	〃 38	② 9	③ 9	③ 8	② 12	7	③ 7	② 8	② 9	② 10	② 8	② 10	② 13	③ 9	③ 9	7	③ 8
13	〃 39	3	4	2	3	3	6	6	2	③ 9	5	4	4	3	2	③ 9	4
14	〃 40	6	5	3	6	5	6	3	2	2	3	3	2	1	2	2	2
15	〃 41	2	4	3	2	3	2	5	2	5	6	6	3	4	5	6	4
16	〃 42	4	1	4	5	5	5	4	5	5	5	5	4	6	6	5	3
17	〃 43	③ 8	③ 9	5	6	8	4	5	6	6	5	1	3	4	2	0	2
18	〃 44	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	1	1	1	1	1
19	〃 45	4	5	3	4	5	5	4	2	4	3	3	3	3	2	1	3
20	〃 46	3	3	2	3	3	4	3	2	2	3	3	1	2	3	1	1

# 《同窓会委員会再編!! 6委員会を4委員会へ》より活動の活発化を図ります!

## ■日本大学藤沢高等学校・中学校同窓会委員会一覧 (案)

広報委員会	企画委員会	総務委員会	組織運営委員会	委員会名	活動内容
1 会報誌の作成及び管理 2 学校広報誌「日藤広報」との連携 3 他付属校等の会報誌・広報誌等の調査 4 ホームページ掲載にかかわる学校との調整	1 各種行事の運営管理 2 新規事業の企画立案 3 各支部行事の支援	1 総会・常任幹事会の運営管理及び議事録の作成管理 2 会員名簿の管理 3 同窓会室の運営管理 4 会計にかかわる学校との管理運営	1 会の組織運営全般 2 各委員会の連絡調整 3 若年層の加入促進 4 組織運営にかかわる学校との連絡調整		

## 現行 日本大学藤沢高等学校・中学校同窓会委員会一覧

委員会名	活動内容
総務委員会	事業計画の立案と実施常任幹事会における議事進行議事録
会報編集委員会	同窓会報の発行その他会報の発行
学校連絡委員会	学校行事に対する対応・文化祭時の同窓会コーナーや卒業を祝う会等
住所録委員会	会員住所録の整理ならびに追跡調査・総会案内状の名簿作成
ホームページ委員会	同窓会ホームページの運営・掲載事項の検討などホームページに関する全般
企画委員会	同窓会として新企画の提案特別事業の計画ならびに実行

## 委員会活動報告

### 会報編集委員会

各委員会を紹介するコーナーです。今回は、同窓会報を年1回発行している会報編集委員会です。例年10月ころから活動を開始します。今回は、記念の第30号ということ、7月から開始しまし

た。会報編集委員、委員会担当の先生、会報誌制作会社の担当者が月1回から2回、高校の小会議室で打ち合わせを行っています。第29号までは、学校関係の記事が多かったため委員

会担当の先生方から、負担が多かったこと、発行後の打ち上げにおいて、第30号からはもっと同窓生の動向を紹介しようというつもりになりました。前頁で紹介したとおり、その時代における藤の姿が紹介されていく興味をそ

られます。第31号からは私、柳澤が担当させていただきます。興味のある方はぜひ会報編集委員会にはいっしょに活動しましょう。(文責・柳澤)

「同窓会報」は発行を重ねて、今回が記念すべき節目の第30号となりました。それを記念して今号は誌面を一新し、第1号から第30号までの主な「歩み」を簡単に紹介することとしました。第1号〜9号まで：岡部伸道氏(昭和38年卒)、第10号〜20号まで：佐藤忠氏(昭和37年卒)がそれぞれ、編集委員長を務められました。私、岡甫(昭和34年卒)は第16号から編集委員として参画し、第21号からは力不足ながら編集委員長を務めさせていただきます。お

同窓生の皆さん、同窓会室の存在をご存じでしたか? 同窓会室がある建物は、25周年記念館の1階にあります。この部屋は同窓会顧問である小菅昭治(昭和39年卒)さんが第6代會長の時に学校とかけあって設けられたものです。かなり広い部屋で応接セット、本棚、冷蔵庫、給湯設備などが備わっています。当初は委員会活動や役員が集まってさまざまな活動の場として使われていたのですが、昨今は物置的な部屋となつてしま

残念な使われ方となつており、委員会の活動も高校本館の会議室で行われるようになってしまいました。これではいけないと考え、会報編集委員会を中心に有効活用できる部屋にしようとして昨年10月から部屋の掃除に取り掛かりました。掃除には酒井太

会長(昭和61年卒)も参加して、熱心に床磨きも行いました。奮闘ぶりには写真を見てくださいます。同窓会予算で事務机や椅子を購入して、使える同窓会室に生まれ変わりました。この部屋は同窓生の皆さまだれでもが使うことができます。高校本館1階の事務課でカギを借りて入室者の氏名を記入するだけです。同窓会室のビフォー・アフターは写真をご覧ください。希望として将来は、週の何日かでも同窓生が常駐できればいいと考えております。(文責・柳澤)

## 同窓会室 リニューアル



▲同窓会報の原案。これをもとに打ち合わせを重ね制作されます。



会報編集委員の打ち合わせの様子

編集会議は同窓会事務局の先生方にも参加していただき、毎年10月から2月中旬まで数回にわたり検討・議



掃除には酒井太会長(昭和61年卒)も参加して、熱心に床磨きも行いました。奮闘ぶりには写真を見てくださいます。同窓会予算で事務机や椅子を購入して、使える同窓会室に生まれ変わりました。この部屋は同窓生の皆さまだれでもが使うことができます。高校本館1階の事務課でカギを借りて入室者の氏名を記入するだけです。同窓会室のビフォー・アフターは写真をご覧ください。希望として将来は、週の何日かでも同窓生が常駐できればいいと考えております。(文責・柳澤)



# 日大藤沢同窓会総会報告

常任幹事 柳澤 昭夫 (昭和53年卒)

平成28年度の総会は、平成28年5月28日(土)午後2時から、日本大学生物資源学部NUSホール2階で開催されました。会場には来賓、現職職員、会員など例年では120人ほどですが、本年度は昨年度より多くの同窓生が集まりました。

総会の司会は、神奈川県議会議員の市川知広氏(平成2年卒)が担当しました。

まず、本年度4月から会長に就任した横濱市議会議員の坂井太同窓会会長(61年卒)から日頃の同窓会活動に対するお礼があり、同窓会報の就任あいさつでも書かれていたように日大藤沢への熱い思いを述べ、日大藤沢の校風に育まれて今の自分があるとの話が来賓として、押尾校長から、平成27年4月から校長としてさまざまな行事に携わり慌ただしい日々



総会の様子



懇親会の様子



川島ばやし

を過ごしたことを。また、同窓会報の就任あいさつに書かれていた「最後まで諦めない生徒」を育てるよう全力をもって職務にあたっていると話されました。

引き続き、来賓の後援会長である山田志郎氏(61年卒)から後援会活動に対するお礼がありました。自身も本校卒業生であり、ご子息も中学から6年間お世話になつていて母校のため活動しているとの話がありました。

また、同窓会長の坂井氏とは同級生であることから、強力な関係を作っていたと話をされました。

来賓のあいさつ後は議事に移り、議長には石井氏(53年卒)、書記に下川氏(53年卒)を選出し、議事審議に入り各議題に対し報告がありました。事業報告および事業計画については満場一致で採択

されました。決算と予算案については、出席者から支部会や同期会が近年盛んに行われていることから、補助費を増額してはとの質問があり、事務局からさまざまな会の開催は難しいことなので、今後は補助費の支出については増額も含め検討することです。懇親会は、会場を2階から3階に移動し開催されました。司会進行は熊田氏(52年卒)が担当しました。

今回の余興では、横濱市の無形文化財である「川島ばやし」の太鼓やおはやし披露されました(写真参照)。川島ばやしの皆さんによる「迎えだこ」で会員は懇親会場に入り、この川島ばやし代表である三村氏は本校卒業生であり、あいさつの中で卒業してから50年ぶりに来ることができ、大

変懐かしいとの感想を述べ、今回参加した者の中にも本校卒業生がいるとの紹介がありました。

坂井会長から、この懇親会のテーマである「祭り」から、とにかく同窓会を楽しみましょうとのあいさつがありました。

押尾校長からは、同窓会からのさらなるご支援をよろしくお願ひしたい旨のあいさつがありました。

新任の教職員紹介や、卒業年度ごとの撮影を行いました。中でも今回は、平成の卒業生が多数出席しました。本年度から常任幹事となった若同窓生が出てきています。同窓会活動を活性化するにはこのような若い同窓生の参加は不可欠と考えます。

また、同窓会室の有効利用など、検討課題は多々ありますが、会員の皆様のご意見をいただきながら進めていきたいと考えております。

時間は瞬く間に過ぎ、小菅元会長による閉会の辞が述べられ、来年の再会を楽しみに散会となりました。

第62回日藤祭恒例の模擬店。今年からは市保健所の指導から、恒例の餅つきがなくなり、ジャガタターの販売となりました。

恒例となったピクニックのテントでの販売で写真でもお分かりの通り大変な繁盛ぶりでした。

後援会の役員はじめ保護者の方も大変だったと感じました。一方日藤祭では、生徒たちがおそろいのTシャツを着てそれぞれブースで元気に活動していました。

過去に行っていた

## 日藤祭模擬店と日藤祭の感想

た同窓会ブースを本年の日藤祭から復活させます。同窓生の皆さまもぜひ同窓会ブースにお立ち寄りください。とても楽しい日藤祭に足を運んでみませんか？お待ちしております。

(文責・柳澤)



## 事務局だより

事務局 三武

営生 (平成11年卒)

同窓会の目的は、会員相互の親睦と母校発展への寄与です。

事業として、同窓会総会や各支部総会・クラス会・クラブOB会などの開催補助金を支給しています。また、母校への支援は、全国大会へ出場したクラブへの奨励金の贈呈、卒業時に紅白饅頭配布、同窓会長賞の授与などをしています。

同窓会役員は名誉会長・顧問・会長・副会長・常任幹事・監査・事務局の82名です。

支部活動は、横浜・藤沢・茅ヶ崎・湘南・西湘・鎌倉・横須賀の7支部です。

その他に6つの委員会を設置し役割を分担して会の運営にあたっています。今後とも、同窓会へのご支援・ご理解をお願いいたします。

### 日大藤沢同窓会各支部長および支部担当教員名簿

役職名	氏名	卒業年
<b>西湘支部 昭和63年設立</b>		
支部長	田淵 秀一	昭和41年
担当教諭	越山 裕之	
	佐藤 陽介	平成18年
<b>横須賀支部 平成5年設立</b>		
支部長	津島 哲夫	昭和46年
担当教諭	渡辺 博	
	苗村 佳則	
<b>藤沢支部 平成8年設立</b>		
支部長	長瀬 英夫	昭和36年
担当教諭	齋藤 俊介	平成17年
	布川 誠	
<b>鎌倉支部 平成8年設立</b>		
支部長	柴田 幸雄	昭和42年
担当教諭	飯田 章	平成13年
	小口 愛	平成13年
<b>茅ヶ崎支部 平成9年設立</b>		
支部長	岡 甫	昭和34年
担当教諭	植村 弘	平成11年
	小杉 翔一	
<b>横浜支部 平成13年設立</b>		
支部長	飯田 昌巨	昭和38年
担当教諭	林 洋平	平成17年
	堀内 景介	
<b>湘南支部 平成14年設立</b>		
支部長	井上 蔚美	昭和36年
担当教諭	大貫 保	
	池田 直哉	

### 日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校同窓会 役員名簿 (平成28年度~平成29年度)

役職名	氏名	卒業年	役職名	氏名	卒業年	役職名	氏名	卒業年
名誉会長	押尾 良仁		同	松本誠一郎	昭35	同	猪俣 浩範	昭54
顧問	広田 和夫	昭27	同	高橋 正人	昭35	同	加藤 有一	昭55
同	青木 春夫	昭29	同	高橋 正昭	昭37	同	三鷲 治彦	昭59
同	水嶋 雅之	昭31	同	飯田 昌巨	昭38	同	加藤 孝幸	昭60
同	大島 正義	昭33	同	相澤 實雄	昭38	同	山田 志郎	昭61
同	小菅 昭義	昭39	同	三鷲 英雄	昭38	同	石田 智子	平2
同	加藤 正美	昭44	同	鴨志田 勲	昭38	同	角南 一葉	平2
会長	坂井 太	昭61	同	軽部 信行	昭38	同	山本 昇平	平2
副会長	岡 甫	昭34	同	山崎 薫	昭38	同	吉野 道夫	平2
同	井上 蔚美	昭36	同	川原 カツ江	昭38	同	草間 裕美	平4
同	長瀬 英夫	昭36	同	岩崎 良春	昭40	同	塩沢 次郎	平4
同	大原 春代	昭38	同	米澤 政道	昭40	同	青木 慶太	平8
同	柴田 幸雄	昭42	同	平井 審	昭41	監査	楠本 文雄	昭52
同	津島 哲夫	昭46	同	関根 直樹	昭43	同	加藤 隆樹	
同	田淵 秀一	昭41	同	江沢 進	昭45	同	宇久田進治	昭39
同	熊田 成之	昭52	同	藤井 正気	昭45	事務局	佐藤 武	
同	杉崎 隆之	昭58	同	山口多喜子	昭47	同	中野万里子	
同	市川 和広	平2	同	米山 信治	昭47	同	石塚 直仁	昭51
常任幹事	佐藤 兼一	昭34	同	関田 周三	昭48	同	山本 秀明	平1
同	山口 晴義	昭34	同	上田 陽子	昭48	同	植村 弘	平11
同	佐藤 清一	昭34	同	桑原 潔	昭49	同	三武 營生	平11
同	新嶺 康悦	昭34	同	柴田 博和	昭51	同	小口 愛	平13
同	菅井 浩明	昭34	同	原田 亮	昭51	同	飯田 章	平13
同	田沢 弘雄	昭34	同	野崎由紀一	昭52	同	齋藤 俊介	平17
同	田中 勝治	昭35	同	柳沢 昭夫	昭53	同	林 洋平	平17
同	鈴木三四郎	昭35	同	石井 敦	昭53	同	佐藤 陽介	平18
同	田淵 親光	昭35	同	下川 幹生	昭53	同	三木 慎子	平23

### 日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校 教員名簿 (平成29年3月1日現在・アイウエオ順)

講師は専任級です。\*名簿の内容は変更になる場合がございます。

役職	担当教科	氏名	着任年	役職	担当教科	氏名	着任年	役職	担当教科	氏名	着任年	役職	担当教科	氏名	着任年
校長	英語	押尾 良仁	平成25	教諭	英語	大桃 愛美	平成11	教諭	地歴公民	佐藤 至亮	平成17	教諭	英語	星 純	平成20
副校長	保健体育	楠本 文雄	昭和58	教諭	理科	小口 愛一	平成24	教諭	理科	千田 浩子	平成16	教諭	情報	堀内 景介	平成20
教諭	数学	加藤 隆樹	平成27	教諭	数学	海野 圭一	昭和57	教諭	数学	高木けい子	平成14	教諭	地歴公民	増山 千尋	平成26
教諭	公民	飯田 知広	平成9	教諭	数学	小野 茂男	昭和49	教諭	国語	千葉 篤	平成25	教諭	地歴公民	松浦 優希	平成26
教諭	英語	池田 直哉	平成21	教諭	英語	加藤 美子	平成13	教諭	保健体育	戸井田 篤望	平成21	教諭	地歴公民	松村 美和子	平成23
教諭	英語	以西 功司	平成8	教諭	英語	菊地 さか	平成20	教諭	数学	長岡 正浩	平成16	教諭	英語	三田 陽子	平成20
教諭	公民	石井 猛春	平成4	教諭	理科	北島 寛明	平成25	教諭	理科	長澤 希	平成26	教諭	理科	三武 營生	平成19
教諭	国語	石井 直仁	昭和55	教諭	芸術	越山 翔一	平成4	教諭	保健体育	永塚 桂子	平成13	教諭	英語	武藤 周二	昭和59
教諭	国語	井村 直子	昭和61	教諭	国語	小杉 真由美	昭和50	教諭	英語	布川 誠	平成26	教諭	英語	矢部 周淑	平成25
教諭	国語	上田 泰輔	平成22	教諭	国語	齋藤 俊介	平成24	教諭	公民	沼尻 和明	平成11	教諭	公民	山本 宮子	平成20
教諭	国語	植村 弘	平成18	教諭	国語	佐々木 孝徳	平成9	教諭	英語	根岸 悠治郎	平成21	教諭	数学	渡辺 博基	昭和61
教諭	国語	薄井 薫	平成16	教諭	公民	佐々木 臣史	平成23	教諭	英語	服部 勝幸	平成24	講師	保健体育	大田 友樹	平成28
教諭	国語	大貫 保	昭和50	教諭	理科	佐藤 輝勝	平成17	教諭	国語	原田 洋夫	平成元	講師	国語	林 三木	平成28
教諭	英語	岡田 有	平成24	教諭	理科	佐藤 陽介	平成22	教諭	公民	藤原 み子	平成15	講師	英語	三木 昌代	平成28
教諭	英語			教諭	理科			教諭	公民	振屋 健	平成27				